

2020年7月31日

教員各位

情報センター長
大澤 真也

自動採点に関する注意喚起

平素より、皆様には、本学の教育運営及び情報セキュリティにご精励いただき厚くお礼申し上げます。

今年度前期授業も終了に近づいているところに申し訳ございませんが、以下に記すことが判明いたしましたので、お知らせいたします。

Moodle や Google フォームを用いた小テストで記述式の自動採点を行う場合に、全く同じ文字でも文字コードの違いにより、本来正解となるべき解答が不正解になることがあります。例えば同じように見える「'」であっても、

apostrophe (U+0027)
modifier letter apostrophe (U+02BC)
right single quotation mark (U+2019)
prime (U+2032)

といった複数の文字コードが割り当てられています。正解を「apostrophe (U+0027)」とした場合に「modifier letter apostrophe (U+02BC)」として学生が解答すると、不正解になってしまいます。

記号だけではなく、漢字の場合でも同じ問題が発生します。見た目では同じ文字が入力されていても、文字コードレベルでは異なる入力が行われている場合があり、本来正解とするべきところが不正解になることがあります。

記述式の自動採点を行う場合にはこのような問題があることを認識した上で、可能な限り目視でチェックをするか、履修者数が多い場合には学生に各自の自動採点内容を確認してもらうなどの方法を工夫してください。

以上、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。